



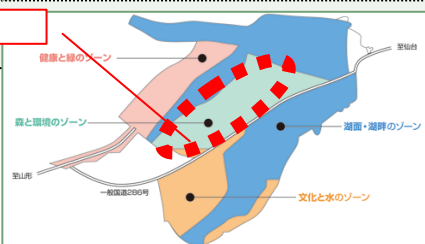
みちのく森の楽校(たより) 第2回

みちのく公園「里山地区」とは？

里山地区

公園区域の中央の釜房湖に突き出した半島で、雑木林とスギ・ヒノキの植林地におかれた里山です。豊かで特徴的な自然環境が多く残されていることから、これらの保全・活用と適切な利用に留意しながら平成26年の開園を目指しています。

これまで、ツリーハウスづくり、樹林地管理や観察会など、さまざまな活動を行ってきました。今年度は、7回シリーズの親子会員活動を行っています。



9月28日(土) 晴れ 「木の遊び道具をつくってみよう！」

今日は第2回の会員活動です！第1回では「きこり体験」をしました。第2回は、切った木を使っの隠れ家づくりと、隠れ家のマスコットとなる木工クラフトをしました。3家族ずつ3班に分かれて、みんなで相談しながら、活動を行いました。隠れ家づくりは今日の活動だけでは終わりません。引き続き作っていきます！

もうひとつ楽しかったのは、ボランティア手作りの遊び道具。ダイナミックな里山遊びをしました！

1班の隠れ家

この班の隠れ家の場所は、少し高くなった所で、周囲はスギ林です。隠れ家は、アメリカインディアンのテント、ティピー型に決めました。

長いあまり太くない丸太を集め、地面に立てて、てっぺんを束ねました。随分、高い隠れ家になりましたね。さて、この周囲を何で囲うかが問題です。今日は、屋根づくりはせずに、内部に椅子とテーブルを作って、さっそく、お昼ご飯を食べました。



丸太運び



柱建て込み



大きなティピーになりそう！



お昼ご飯

2班の隠れ家

この班の隠れ家の場所は、斜面で、ツリーハウスづくりで切った木の切り株がありました。

まず、2つの切り株を束として活用して大引をかけて、斜面を使って床板を張って、デッキを作りました。デッキの周囲には、スギの枝を使って屋根の骨組みを作りました。テントみたいな可愛い隠れ家になりそうです。これもまた周囲を何で囲うかが問題。ササにしようか、スギの葉にしようか、考え中！



残った切り株を使おう！



デッキができた！



囲いはスギの枝を四隅に立てて、横方向に細い枝を回しました。



3班の隠れ家

この班の隠れ家の場所は、平坦なスギ木立の間。この班では、伐倒したスギの丸太を切って束にして、地面にしっかり立てて、その上に大引を取り付け、その上に板を敷いて、デッキを作りました。束建ては基礎になるので、しっかりと打ち付けました。

床板もビスで打ち付け、しっかりしたデッキができました。さっそくお昼ご飯の場所にしました。

屋根はどうしよう？



丸太を切って、束づくり



束の建て込み！



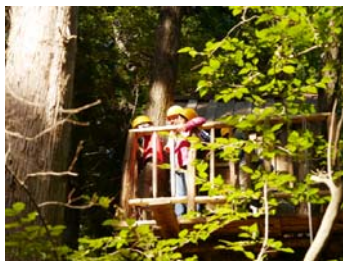
床板敷並べ、固定。



デッキで、さっそくお昼ご飯！

ツリーハウス！

ツリーハウスのサードデッキに登ってみました。上から見る景色は格別。



木工クラフト

隠れ家のマスコットにするため、木片を使って木工クラフトをつくりました。1 つに決まらなかったの、各人が思い思いに作ってみました。

ウサギ、イノシシ、猿、象、犬、フクロウ、ヘビ、顔…。特徴がよく出ていますね。

今日は初めてなので練習。これから何度も作ります。



里山アドベンチャー！

ボランティアは、会員の子供たちに楽しんでもらおうと、ここに生えているスギの木立を使って、いろいろな遊び道具を作りました。子供たちの歓声が里山に響いていました。



ハイジのブランコ



ターザンロープ



ロープ渡り